

神々が集う 出雲神在祭

科目コード	2696622
学習センター	島根学習センター
学習センターコード	32A
クラスコード	K
科目名	神々が集う 出雲神在祭
科目区分	専門科目:人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	シナガワ トシヒコ 品川 知彦 (山陰民俗学会監事／前島根県立古代出雲歴史博物館学芸部長)
日程 実施時間	2026年10月31日(土)第1時限 09:50～11:20 2026年10月31日(土)第2時限 11:30～13:00 2026年10月31日(土)第3時限 14:00～15:30 2026年10月31日(土)第4時限 15:40～17:10 2026年11月01日(日)第1時限 09:50～11:20 2026年11月01日(日)第2時限 11:30～13:00 2026年11月01日(日)第3時限 14:00～15:30 2026年11月01日(日)第4時限 15:40～16:25 2026年11月01日(日)試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	この授業は、【島根学習センター、2日目の第5、6、7回は★出雲市、松江市周辺】で行います。

【授業内容】 旧暦10月神無月、全国の神々が出雲に集うと伝承されています。出雲ではこの月は神在月と呼ばれ、出雲大社、佐太神社など10社で集った神々を祀る神在祭が行われています。神集いの理由は、神社によって異なり、また同じ神社でも時代によって異なります。出雲大社を中心に諸社の神在祭とその神集いの理由を紹介しながら、出雲大社を語る上で重要な幽(見えない世界、神々の世界)と顕(見える世界及びそこでの政治)の問題や縁結び信仰について考察します。 なお、出雲大社、佐太神社などを現地見学する予定です。
【到達目標】 出雲大社や神集い伝承の歴史を学び、神集いに関係する神社や伝承地の解説を行うことができる。
【授業テーマ】 第1回出雲大社の造営と出雲信仰／民俗事象から見た神集い信仰 第2回諸社の神在祭 第3回神々はなぜ出雲に集うのか 第4回出雲国結の神―出雲(大社)の縁結び信仰 第5回神々が集う神社1 出雲大社 (現地見学) 第6回出雲(大社)の歴史を学ぶ 古代出雲歴史博物館観覧(現地見学) 第7回神々が集う神社2 佐太神社 (現地見学) 第8回まとめ
【学生へのメッセージ】 2日目は島根学習センターに8時20分に集合した後、バスで移動し、出雲大社などの現地見学を行います。なお佐太神社の神送りの場である神目山に登る予定です(山道・20分程度、悪天時には予定を変更する可能性があります)。歩きやすい格好で参加してください。
【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断し、自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
【受講者が当日用意するもの】 現地見学の際は、長袖長ズボン、歩きやすい靴で、雨具を持参の上、参加してください。
【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
【参考書】 ・『神々集う出雲の國 神在月』(監修 錦田剛志、執筆 品川知彦他／山陰中央新報社／¥1,980／ISBN=9784879031853) 品川知彦「神々はなぜ出雲に集うのか」『神々集う出雲の國 神在月』所載 ・『山陰民俗学会70周年記念論集 山陰の暮らし・信仰・芸能』(山陰民俗学会 編／ハーベスト出版／¥1,760／ISBN=9784864562959) 品川知彦「縁結び信仰と神在祭」『山陰民俗学会70周年記念論集 山陰の暮らし・信仰・芸能』所載
【その他(特記事項)】 ・授業料とは別にバス代2,500円程度、古代出雲歴史博物館入館料1,310円(特別展含む)が必要です。 ・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧(P.5参照))